

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2部3年	教育相談	緒方 玲子	
サブタイトル	教育相談（カウンセリング）の理論と実践	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	前期	出席要件	4/5以上
到 達 目 標			
本科目の目的は子どもの発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や課題を捉え、子どもを適切に支援する為に必要な基礎を身に付けることである。 1. 子どもの心理的不適応や問題行動を把握する方法を学ぶ。 2. 子どものいじめ、不登校（園）、虐待、非行などの発達課題に応じた教育相談の進め方を理解する。 3. 地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す科目である。カリキュラムマップにおいて「心の理解」に位置づけられており、15回の授業により、子どもの心理的不適応や障害についての理解を深め、保育、教育現場における保育の専門性を身に付けることが求められている。			
授 業 の 方 法			
・講義においては聴講・ノートテキングを通して授業内容を把握する。 ・アクティブラーニング（グループ・ディスカッション、ロールプレイなど）を通して、理解を深める。 ・確認問題、フィードバックにより、授業内容を振り返り、確認する。 ・レポートの提出により、内容理解を深める。 ・視聴覚教材を通して多面的に内容を理解する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト 桜井美加他著 改訂版「教育相談ワークブック」北樹出版 2022年4月 参考図書 上林靖子監修 河内美恵他編著「保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング」中央法規 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針」チャイルド本社 「発達と障害を考える本 ①～⑫」ミネルヴァ書房 「幼稚園教育要領解説」（政府刊行物） 「幼稚園連携型認定こども園教育・保育要領解説」（政府刊行物） 「保育所保育指針解説」（政府刊行物） 教 材 箱庭療法用具、視聴覚教材（DVD）			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
定期試験、確認問題、レポート、授業態度、グループ・ディスカッション、発表、および振り返りの内容を総合的に評価する。		定 期 試 験	70%
		確認問題・レポート	20%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・コクヨノート（コクヨ、キャンパスノート B5プリントが切らずに貼れるサイズ）を使用する。 ・欠席者への配布物は、即日確認し、課題は提出すること。 ・公認心理師、臨床心理士としての実務経験を活かし、子どもの心身の発達や心理的特質等について、わかりやすく解説します。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス 教育相談の目的と意義の理解	教育相談の意義と目的 理解
2 回	子どもの発達とアセスメント（心理査定）・心理療法の理解	アセスメント（心理査定） 心理療法の理解
3 回	教育・保育に役立つ心理検査法 動的家族画の理解	心理検査法、動的家族画 の理解
4 回	教育・保育に役立つ心理療法 箱庭療法の理解	箱庭療法の理解
5 回	気になる子への支援 ソーシャルスキルトレーニングの理解	気になる子への支援、 ソーシャルスキルトレーニング（SST）の理解
6 回	広汎性発達障害の理解 広汎性発達障害の理解と支援	広汎性発達障害の理解 と支援
7 回	教育・保育に役立つ心理療法 自閉症のためのダンスセラピーの理解	自閉症のためのダンス セラピーの理解
8 回	発達障害（ADHD）とクラス運営 ADHD とティーチャーズ・トレーニングの理解	注意欠陥多動性障害 （ADHD）への理解と支援
9 回	発達障害（LD）と専門機関との連携 LD の理解と支援	学習障害（LD）への理解 と支援
10 回	摂食、排泄の問題と教育相談 摂食、排泄の問題の理解	排泄、摂食の問題の理解
11 回	知的障害、ことばの理解と医療機関との連携 知的障害、ことばの遅れの理解と支援	知的障害、ことばの遅れ 医療機関との連携理解
12 回	幼児・児童虐待と PTSD 幼児・児童虐待・PTSD の理解と支援	PTSD、幼児・児童虐待、 被虐待児の理解と支援
13 回	非行・反抗挑戦性障害と行動療法 非行・反抗挑戦性障害の理解と行動療法による支援	反抗挑戦性障害、 非行と行動療法の理解
14 回	⑤愛着障害・DV 愛着障害・DV への理解と支援	愛着障害・DV の理解と支 援
15 回	教育相談 まとめ	教育相談まとめ
試験	定期試験	